

○国の地域女性活躍推進交付金を活用して大島町でも講座を実施してみてもどうか。

・デジタル庁も開設された今、大島町としても女性デジタル人材育成の推進に講座を実施する事業導入を。

○都道 町道の外灯の LED 化への要望について

・今後、都道 町道の外灯 LED 化で白色ではなく暖色の LED 導入を望む。
都道に関しては大島町として「自然が多い、星空がキレイに見える」の観点から暖色の LED 導入の申し入れ要望を。

問

今回の一般質問は 2 点についてお聞きしたいと思います。
通告の順番と変更しますが

1 点目は都道・町道の LED 化地域や暖色への要望であります。

現在都道の LED 化が順次、進められております。元町～北の山～岡田への道は夜間照明として外灯の色も変化があります。

島民の方からのご意見があり調べてみましたところ、以前のままの照明であるものと LED 化によって白色に代わっているものがありました。

都の土木課へ確認しましたところ「順次 LED へ移行しております」とのご返事でした。

その照明の違いは顕著であり、東京都としても平成 19 年 4 月に「東京都景観計画」を策定し、地域特性に応じた景観形成の方針や基準を定め、良好な自然の中にある照明の効果や景観形成を進めており、平成 30 年 8 月には、東京都ならではの夜間景観と良質な光の誘導を図るため、都市開発諸制度などを活用して計画される基準に夜間照明に関する事項を追加しております。

この手引きには地区区分や対象ごとに夜間照明に関する基準が設けられており「豊かな自然を生かした伊豆諸島」も記載されておりました。

そこにはこう書かれておりましたのでご紹介いたします。

- ・良好な自然環境や生態系に配慮し、自然環境への負荷を軽減する。
- ・美しい星空を楽しめるよう、上空への漏れ光などの光害のない照明とする。
- ・島の玄関口となる港周辺や観光スポットでは、来訪者を迎え入れる空間を光で演出する。

また、LED の特徴と使用上の注意点には

- ・まぶしくなりやすい
- ・白色に偏りがち ともあり、必要以上に明るすぎないよう気をつけま

しょうと指摘されています。

現在はまだ LED に変更されていないオレンジ色の照明と LED に交換された白色の照明が都道には混在しております。

見比べるにはいい機会となりました。LED にも暖色のものがあることもわかりました。都道の外灯で LED に交換された所は少々目にまぶしく、星空を楽しむにはもっと暖色の LED の照明が良いと思えます。

要望された方のご意見を調べる中で、今後の観光地大島としてご検討され、大島町として都の方へ意見をあげていただき、今後の島の夜間照明へのご配慮をお願いしてまいります。

町長のお答えをお聞かせください。

また、その調査を進める中で町道である元町港から御神火温泉への歩道と車道の間の背の低い照明のことですが、運転者からはちょうど目の高さに光が入ってくるので目がチカチカする、高さを変えられないかとの訴えもありました。

そこは「高さ」ではなく「暖色 LED」への変更で問題解決するのではと思いません。

是非、町道でもこのような照明に関する要望に LED 化を進めておられることも知っておりますので、ご検討を宜しくお願いいたします。

町長・建設課長のお考えをお聞かせください。

答 建設課長

元町港から御神火温泉までの低い照明の件についてお答えいたします。

大島開拓 1 号線の元町船客待合所付近から元町浜の湯歩道上には、山側歩道にガス灯風デザイン 6 本、腰高の足元灯が 11 基、海側歩道にはガス灯風デザイン 2 本、腰高の足元灯が 16 基設置されています。

昨年 8 月から 11 月頃にかけて、油送管布設のための海側歩道部分の掘削工事が実施されました。それに合わせ不具合で無灯火状態であった歩道街灯を歩行者の安全確保と更に観光のお客さまが伊豆半島の夜景を楽しめるよう、その区間のガス灯型の背の高いタイプの街灯は廃止し、腰高タイプの足元灯に更新いたしました。

今回のご質問を受け改めて夜、確認してまいりました。

車で岡田方面から進んだ場合は、さほど気になる感じはありませんでしたが、元町港方向から進みますと緩い坂道で、さらに右カーブとなりますので、個人差はあると思いますが、指摘内容を意識して走行すると気になる感じは致しました。

今回は大変貴重なご意見を賜りましたので、今後ご指摘内容を踏まえ、研究させて頂きたいと考えております。

答 町長

最初の質問であります、都道、町道の外灯 LED 化で白色でなく暖色の LED 導入についてお答えします。

高橋議員も紹介しているとおり、「東京都景観計画」においても自然環境への負荷の軽減や星空を楽しめるよう光害のない照明をあげていますので、今後、都道の LED 変更にあたっては暖色とするよう大島支庁とも協議してみます。

また、チャドクガなどの成虫は明りに集まる走光性の性質を持っており、白色より暖色の方が忌避性、いわゆる集まりにくくなっていますので、良好な自然環境や生態系に配慮しているとも言えます。

町道においては、今後取り替える際、防犯の観点もありますので場所によってとなりますが、暖色の LED 化を進めていきます。

2 つ目の質問に移ります

問

9 月 1 日に設置されたデジタル庁・そして以前から公明党としても取り組んできたデジタル社会への各分野の推進により、便利な社会の構築や福祉・教育等に限らず・更には経済活性化へと各委員会も設置、研究を進めております。

現在、東京都女性局長で大島にも何度も来島されている竹谷とし子参議院議員からも島でもデジタル分野での女性の就労支援へ「国の地域女性活躍推進交付金」等も活用して講座をやることはどうでしょうかと軽石の調査にいらした際に話しが出ました。

私自身、デジタル教育を学校教育の現場では受けてきていない世代であります。また、もっと若い世代の方（30 代～40 代）の方にお聞きしたところ、デジタル分野の仕事にはついてこなかった、Word・Excel などを使える方との募集には対応出来るか不安である。との声も頂きました。

講座に関しては、女性に限って欲しいということではありませんが、女性は結婚や子育てをしていく中で家庭環境によっては職種も様々で非常勤やパートなども多く、少し子供の手が離れたころ、正社員への道を考え始めても、先程のデジタルへの対応への不安から仕事を諦めたりするケースも少なくありません。

また、50 代 60 代であってもこの講座を取得することで、介護や様々な家庭環境の状況によっては自宅での就労も出来る道をも開くことになるのではと考えております。

交付金の活用には様々な条件もありますでしょうし、講座の内容・期間・費用〔個人・国・都・町負担〕等を考慮し、希望される方がどこまでいらっしゃるのかも私自身調べていきたいと思っております。

町として町民の希望者、働きたい、手に職を付けたい、スキルアップしたい

の思いの後押しをしていただけるお考えがあるかどうか町長にお答えをお願いいたします。

また、もし、交付金や講座に関してのご意見がございましたら、町長・政策推進課長にもお答えを頂きたいと思っております。

答 政策推進課長

デジタル分野での女性の就労支援として講座を開くにあたり、地域女性活躍推進交付金の活用に関して意見があるかのご質問にお答えします。

財政担当課長といたしましては、実施を必要とする事業があれば、何らかの財源を調査し確保することは責務であります。

財源確保にあたっては、複数の補助金などに該当する場合は、補助割合や手続きが町にとって、より有利であるものを選択するよう心掛けています。そのため、実施する事業の内容によっては、議員からご紹介いただいた「地域女性活躍推進交付金」は選択しないかもしれませんが、このように情報提供頂くことはありがたいことです。

次に講座に関する意見については、私からは特にありません。もし実施するのであれば、他の事業と同じく、目的を達成するために、より効果をもたらす内容である事業であることを希望します。

答 町長

国の地域女性活躍推進交付金を活用して大島町でも講座を実施してみてもどうかについて、お答えします。

竹谷とし子参議院議員の新聞記事を少し引用しますが、コロナ禍が長期化する中で、全国的に非正規などで働く女性を中心に減収や失業などで困窮する人が増えています。

デジタル分野の仕事は、子育てや介護などでフルタイムで働けない場合も、時短や在宅で何歳でも仕事ができ、女性が力を発揮できる分野だと考えられ、昨年末に閣議決定された「デジタル社会の実現に向けた重点計画」に、女性デジタル人材育成プランを策定することが発表されました。

このようなことから、国は令和 3 年度に続き、来年度予算においても、女性のデジタルスキル向上や就労の支援に活用できる「地域女性活躍推進交付金」が計上されています。

女性のデジタル人材育成の推進に講座をとということですが、私としましては、島の皆が未来に希望を持って元気に働ける島をつくるため、いつでも町民の背中を追いたいと考えています。しかし、今回課題としている、女性デジタル分野への活躍の場を広げるために、高橋議員が提案する講座が果たして最適解であるかどうか見極める必要があるかと思っております。

いずれにしましても、コロナ禍により多様な働き方が加速的に進められている昨今、これに伴うデジタル社会の推移も見据えて対応すべき課題と捉え、広くその対応を検討しなければなりません。

なお、財源については、デジタル活用支援推進事業関連で「地域女性活躍推進交付金」以外にも見込めますので、これも合わせて研究していきます。